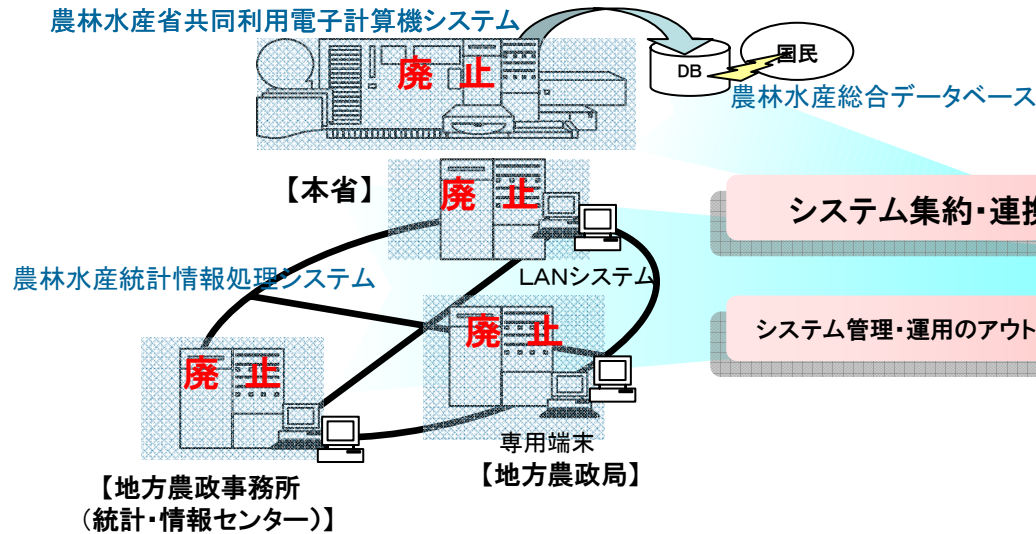


農林水産省共同利用電子計算機システムに係る業務・システムの最適化計画についての概要

【現 状】

現在の農林水産統計



農林水産統計の見直し

- 調査実施の見直し
 - ・調査の廃止
 - ・周期年化
 - ・標本数の削減
 - ・調査項目の簡素化
- 調査方法の見直し
 - ・調査員調査化
 - ・郵送調査化
 - ・オンライン調査化
 - ・調査補助者の活用

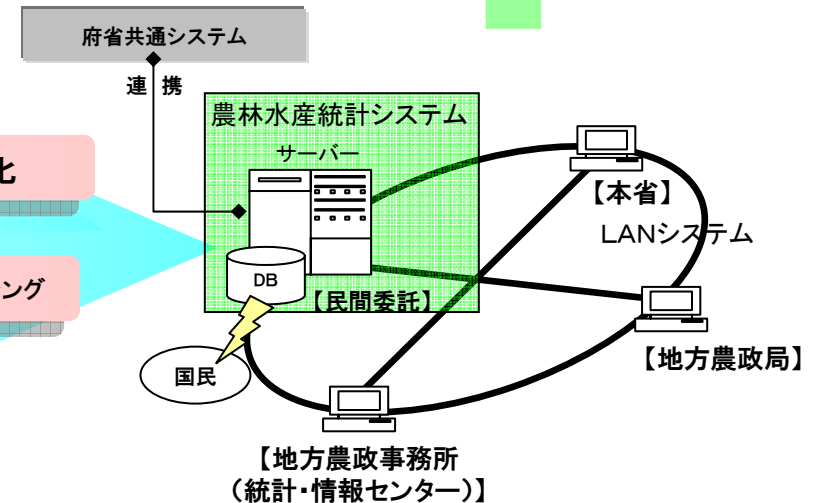
【最適化後】

政策ニーズに即し、かつ、
効率的な農林水産統計の実現

システム面から支援

システム集約・連携強化

システム管理・運用のアウトソーシング



最適化の基本理念と実施内容

- 農政改革の推進に対応した農林水産統計の見直し
 - ・農政改革の推進等に対応するための抜本的な見直し
- 調査手法の見直しに伴う効率的な統計調査の実現
- 分析・加工の高度化・効率化による政策ニーズ及び国民ニーズへの対応
- データの一元管理によるセキュリティ強化と利便性の向上
- 汎用機のオープン化、システムの集約・連携強化と府省共通システムの活用による業務・システムの効率的な運営の推進システム効率の向上
 - ・汎用機のオープン化
 - ・地方サーバの統合・専用端末の廃止
 - ・各府省共通システムの連携及び活用
- アウトソーシングの活用
 - ・サーバ等主要システム機器の管理・運用業務を民間委託

期待されるコスト削減の効果

- ・年間約5.3億円のシステム運用経費の削減
- ・システム構築の初期投資を3.5年で回収

期待される業務処理時間の短縮効果

- ・年間約194.3万時間の業務処理時間の短縮